

木祖村議会だより

道しる



木祖村営 吉田地区 (福寿草の里)

大雪だった木祖村にもようやく春が来た。

令和4年4月21日

No 176

令和4年度

当初予算

地方税等の減収を踏まえ、2年連続の
緊縮型予算

令和4年度 村のお金の使い道

○一般会計は総額28億4,557万円 前年比1億1,944万円の減額（△4.0%）

菅川橋・栃の木橋橋梁長寿命化工事、しらかば平管理棟工事や村道鳥居峠線視距改良工事の減少に伴い減額予算となった。

○簡易水道事業会計は、新荻原浄水場建設工事の継続実施により収益的収支および資本的収支ともに大幅な増加となっている。

○下水道事業会計は、奥峰浄化センターの統合工事や浄化センター電気設備事業の終了により収益的支出および資本的支出ともに減少した。

総務費

6億5,914万円
(7,600万円 増)

- 荻原街中空き家改修工事
- 移住定住促進事業
- 自治体DX推進事業

他



民生費

5億9,746万円
(5,018万円 増)

- 社会福祉協議会への交付金
- 広域連合負担金
(木曾寮建設事業他)
- ふれあいセンターは
なのき解体工事 他



衛生費

1億7,677万円
(2,026万円 増)

- 簡易水道事業会計への繰出金
- がん検診費用への補助
- 子宮頸がん等予防
接種事業
- ゼロカーボン推進
事業 他



農林水産業費

1億7,482万円
(△1,596万円)

- 下水道事業会計への
繰出金
- はくさい新規就農者支援
- 耕作放棄地解消事業
- 緩衝帯整備維持管理
事業 他



商工費

1億2,289万円
(△4,235万円)

- コロナ感染症経済対策事業
- 観光協会交付金
- 安心エコ住宅リ
フォーム補助
- イベント実行委
員会交付金 他



土木費

2億8,316万円
(△2億4,600万円)

- 犀勝橋修繕工事
- 村道（奥峰線・荻原
駅裏線）改良工事
- 下水道事業会計への
繰出金 他



消防費

1億1,093万円
(△1,508万円)

- 広域消防負担金
- 菅コミュニティ消防セ
ンター屋根修繕工事
- 分団交付金
- 団員報酬 他



教育費

2億5,069万円
(5,508万円 増)

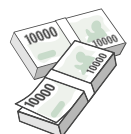
- 総合グランド照明LED化工事
- 中学校エアコン設置
- 小学校ランチルー
ム天井改修工事
- 公民館運営費 他



公債費

3億5,200万円
(1,530万円 増)

- 新ごみ処理施設建設に伴う元金
償還が始まり増額



※()内の数字は前年比。△は減額。

木祖村議会は3月3日(木)に開会し、議案22件（人事案件2件、条例改正8件、木曾広域連合関係1件、過疎計画1件、補正予算5件、当初予算5件）について慎重審議し原案通り可決し、3月22日(火)散会しました。

令和3年度一般会計補正予算（第8号）について、99,858千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,454,578千円とした。

3月会議 議案などの審議結果（付託委員会について、厚生文教・産業経済一部省略）

番号	件名	付託委員会	審査結果	採決結果
発議第1号	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議し、平和的解決を求める決議について			可決
議案第3号	木祖村教育長選任の同意を求めることについて			同意
議案第4号	木祖村固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて			同意
議案第5号	木祖村一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	厚文	可	可決
議案第6号	木祖村議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	厚文	可	可決
議案第7号	木祖村特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	厚文	可	可決
議案第8号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	厚文	可	可決
議案第9号	木祖村基金条例の一部を改正する条例について	産経	可	可決
議案第10号	木祖村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	厚文	可	可決
議案第11号	木祖村消防団条例の一部を改正する条例について	厚文	可	可決
議案第12号	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	厚文	可	可決
議案第13号	木曾広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄について	厚文	可	可決
議案第14号	木祖村過疎地域持続的発展計画の変更について	厚文	可	可決
議案第15号	令和3年度木祖村一般会計補正予算（第8号）	厚文・産経	可	可決
議案第16号	令和3年度木祖村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	厚文	可	可決
議案第17号	令和3年度木祖村後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第2号）	厚文	可	可決
議案第18号	令和3年度木祖村簡易水道事業会計補正予算（第3号）	産経	可	可決
議案第19号	令和3年度木祖村下水道事業会計補正予算（第3号）	産経	可	可決
議案第20号	令和4年度木祖村一般会計予算	厚文・産経	可	可決
議案第21号	令和4年度木祖村国民健康保険特別会計予算	厚文	可	可決
議案第22号	令和4年度木祖村後期高齢者医療制度特別会計予算	厚文	可	可決
議案第23号	令和4年度木祖村簡易水道事業会計予算	産経	可	可決
議案第24号	令和4年度木祖村下水道事業会計予算	産経	可	可決

令和4年

3月14日(月) 役場2階大会議室

常任委員会連合審査

▼厚生文教委員会

議案第5号 木祖村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

議案第6号 木祖村議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第7号 木祖村特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

(議案第5号・6号・7号) 一括審査

問 この改正で一時金がどの程度減額となるのか金額の目安を示してほしい。

答 一般行政職の平均給料月額281,700円で積算すると42,255円が減額となる。

議案第8号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

問 育児休業の取得状況はどうか。

答 3名が取得中、産前休暇は1名が取得中で育児休業も取得することになる。

問 男性の育児休業取得の実績はどうか。

答 実績はない。

その他の意見 男性も育児休業を取得しやすい環境づくりをお願いしたい。

議案第11号 木祖村消防団条例の一部を改正する条例について

問 団員報酬の引き上げについて検討されたのか。

答 郡内で比較すると、木祖村の金額は上位であるこ

とから、改定には至っていない。近日行われる消防委員会で協議したい。

議案第15号 令和3年度木祖村一般会計補正予算(第8号)

問 評価基礎資料整備事業の減額の内容は。

答 地籍調査後、公図の異動に伴って土地の図面に変更があった際、閲覧システムへ反映させるための作業委託料で、今年度は地籍調査の成果が上がってこなかったため、その分の減額である。

問 移住就業、企業支援事業交付金の減額の内容は。

答 県開設のマッチングサイトで求人に応募しつつ移

住された方が補助対象となるが、実績がなく減額した。

問 木曽寮移転改築事業負担金分7,000千円とは。

答 令和3年度確定分として計上した。令和4年度当初予算では、22,000千円を計上している。

問 まめのわ使用料の減額とは。

答 民間事業者の利用実績が1件のみで、見込みより少なかったため減額した。

議案第20号 令和4年度木祖村一般会計予算

問 空き家対策推進事業の内容とは。

答 「南寿屋」の建物と土地を無償で譲り受けて、村営住宅化を目的とし、既存の内装を残しつつ耐震補強の工事を行うものである。

その他の意見 藪原街並みに、現在住んでいる方から住みにくいとの話を聞くので、空き家対策事業実施については、しっかり検討し1軒だけでなく規模を広げていってほしい。

問 藪原街並み活性化事業推進交付金の内容とは。

答 木曽ペインティングスへの交付金である。

問 森林管理署旧職員宿舍用地及び建物取得後の活用とは。

答 将来的に村営住宅化等を視野に入れている。入札による購入を行うものである。

問 庁舎電話回線改修工事の内容は。

答 既存設備の容量に余裕がなく、庁内の電話も不足しており、コロナ対策の分散勤務や災害対策本部設置に対応できるようにするための改修である。

問 木祖村ホームページリニューアルについて。

答 見やすさや、分かりやすさに重点をおき、リニューアルを進めるものである。

問 CATVきそむらチャンネル番組制作の内容は。

答 例年通りの番組内容を予定している。

問 公共施設のLED化の進捗状況について。

答 大きな施設では、老人福祉センターホールなど未整備の箇所もあるが、使用頻度の多いところから随時更新していく。

問 町村会負担金の「きそ子どもセンター分」とは。

答 均等割りの部分については町村会経由で支払いを行うことになっている。

問 分団配備用水中ポンプの購入台数は何台か。

答 10台購入し各分団に配備する。

問 郷土館雨漏り修繕の工法はどのようなものか。

答 既存の屋根の上に新しい屋根を取り付けるカバー工法で施工する。

問 移住者分譲地購入補助金の具体的な内容は。

答 移住者が宮の森分譲地を購入した際に、購入費の2分の1以内上限150万円を補助するものである。

問 空き家の状況はどのくらいか。

答 12件登録され2件売却された。

問 ゴミ袋への記名の義務化及び分別の徹底をしては。

答 プライバシーの問題から記名を義務化するのは難しいが、可燃ごみの減少、マナー改善の観点から行政懇談会等で村民へしっかりと周知していく。

問 サーバー購入とは。

答 更新のための購入費である。

問 公用車をどのような方法で購入するのか。

答 出張向き、現場対応等の用途によってリースか買い取りかを選択している。

問 野良猫対策への対応とは。

答 多頭飼い等による環境問題への対策として、猫繁殖制限手術補助金制度を創設するとともに、飼育に関するマナー向上やルール化など、今後研究を行う。

問 エルタックスとは。

答 地方税の申告や納税ができるシステムで、市町村と納税者がつながる。

問 笹川の小水力発電事業の内容は。

答 県内ではほとんど例がないためハードルは非常に高いが、事業の実現に向け今年度調査する。

問 総合グラウンドのLED化で照度が上がるのか。

答 照度はアップし、眩しい場合には微調整も可能である。

問 出生者数について。

答 令和3年度は2月末までに8名、令和4年度見込みは15名である。

問 小中学校の特定建築物調査指摘箇所修繕工事の詳細は。

答 外壁のクラック、内部のタイルの浮き、軒天の腐

食などの修繕が主なものである。

問 生活支援体制整備事業交付金の内容とは。

答 社協に配置されている生活支援コーディネーター2.5名分の人件費等を計上している。

問 子育て世代包括支援センター事業に計上されている指導員報酬の内容とは。

答 令和3年度の新規事業「親と子の心とからだの相談事業」の相談対応をしている臨床心理士とコーチング指導員の報酬と、保育園の巡回療育の相談対応をしている言語聴覚士の報酬を計上している。

問 結婚支援事業の登録は何人か。

答 登録者数は男性11名、女性3名の計14名で、コロナの影響でイベント等の中止もあり成果は上がっていない。

【その他の意見】 新たな施策を検討したほうが良いと思われる。

問 ALT委託料の増額とは。

答 王滝中学校が休校することで、単価が上がったことが要因である。

問 人口は減少しているが、軽自動車税が増加しているのはなぜか。

答 維持費の節約のため、普通車から軽自動車への乗り換えが増えていることなどが要因である。



令和4年3月15日(火) 役場2階大会議室 常任委員会連合審査

▼産業経済委員会

議案第9号 木祖村基金条例の一部を改正する条例について

問 基金に積み立てる財源として一般会計決算の剰余金10%を上限とした場合の想定金額はどのくらいか。

答 令和2年度決算で考えると136,800千円の剰余金であったので、約13,600千円となるが、今後スキ-

場にどれだけ支援していくかによって積み立てる金額も変動する。当面は目安として10,000千円程度を見込んでいるが、財調からの繰入れ状況や全体の財政状況もふまえて積立額を決めていく。

議案第18号 令和3年度木祖村簡易水道事業会計補正予算(第3号)

問 浄水場建設工事の土質調査結果はどうか。

答 大型ブロック積工の基礎部分を掘削したところボーリング調査と違った軟弱な土質が現れたため、再度土質調査を行った結果、土質自体は問題ないとの結果であったが決定までに時間を要することとなった。今回の件で、来年度以降計画されている工事にも影響

するため、土質改良が必要となれば、事業費も増額になる。

【その他の意見】 コロナ等の影響により、浄水場建設工事の資材購入等に影響が出る場合には、その都度議会へ報告をしてほしい。

議案第20号 令和4年度木祖村一般会計予算

問 森林環境譲与税は、将来を見据えどのように有効活用していくのか。

答 森林整備計画との整合性を図りながら進めていくことになる。将来木祖村の森林をどのようにしていくのか検討するため、専門的なアドバイザー制度の導入などを研究しながら、下流域への働きかけも引き続き行っていく。

【その他の意見】 国の方針も明確になっていないが、木祖村として森林環境譲与税の明確な方針を決めて有効活用してほしい。

問 トラクター購入の要因は。

答 村が過疎債を財源として購入し、ファーム木祖へ貸し出すためである。

【意見】 トラクターの管理について、村がしっかり指導し大切に使用してほしい。

問 生産性向上支援事業（コロナ対策事業）の見込み数はどうか。

答 予算としては上限5,000千円2件の10,000千円を計上した。下限は設けず少額な事業も申請可能であることや、製造業と農林業が連携し新しい木工製品を作る事業や、移動販売車による事業、アドバイザー委託料も対象となる。

【意見】 生産性向上支援事業については商工会関係者等の皆さんも期待するところだと思う。農業関係者等とも連携した継続的な事業展開に期待したい。

問 衰退している木工業をどうするのか。

答 ふるさと納税で人気がある木工品もあるので、担い手対策について取り組んでいく。

問 県営中山間地域総合整備事業の菅鳥獣対策柵設置事業の方向は。

答 県営中山間地域総合整備事業では実施しないが、他の事業による対応を検討中で令和4年度、試験的にサル除けのネットを約400m設置する予定である。

問 薪ストーブの煙や臭いに対しては。

答 今回の補助制度は、煙まで燃やす二次燃焼機能対応のストーブを補助対象としている。

【その他の意見】 これからは薪ストーブへの補助だけではなく、薪の確保への補助についても検討していただきたい。

【その他の意見】 雑穀の体制整備について、もち麦はアレルギーが無い品種であるので、学校給食での活用や

加工センターによる様々な商品開発に期待ができる。今後は、生産者の増にも支援をお願いしたい。

問 道の駅調理器具の更新内容は。

答 食堂の冷蔵冷凍庫を更新する。

【その他の意見】 加工センターの運営が苦戦していると聞く、支援をお願いしたい。

問 緩衝帯整備事業の具体的な内容は。

答 各自治会から要望があった箇所についてはシルバー人材センターが実施することになるが、自治会の範囲を越えた農地等については、有害鳥獣対策の村の事業として、県の森林税を活用し3ha程度整備する予定である。公共施設、駅伝コース、景観等の整備については、課ごとにシルバー人材センターや業者に委託する。

問 PR動画への成果は。

答 ユーチューブにアップすることで誰でも簡単に見られる仕組みが整い、特に若者へのPR効果が上がる。

問 あやめ公園池の遊歩道について。

答 遊歩道については、菅生産森林組合が県の補助制度を活用しながら継続的に進めている。

問 はくさいマラソン大会についての申し込み状況は。

答 3月11日からエントリーを開始した。既に100名近くの申込みがあり、電話等での問い合わせも増えている。

問 アンテナショップの状況はどのようになっているか。

答 村からの交付金は7,600千円、全体で23,700千円の予算となる。令和3年度売り上げは8,300千円の見込みで、酒類、野菜の販売が好調ではあるが、コロナの影響もあり、売り上げはこの2年は減少している。移住定住については、情報発信や相談を受け付けているが、具体的に移住定住につながった経過はない。



議案第23号 令和4年度木祖村簡易水道事業会計予算

問 今後5年間的一般会計からの繰入金見込み額はどのくらいなのか。

答 浄水場建設工事が数年続くことや、工事が終了し償還の据え置き期間が終了すると、多額の繰入金が必要となるため、今後の財政シミュレーションを早急に提示する。(3月22日提示)

問 葛沢でボーリング調査を行った水源の状況をどのように考えるか。

答 1年間水質検査を行う必要があるが、緊急予備用として活用できるため、令和4年度早々に発注し進めていく。

議案第24号 令和4年度木祖村下水道事業会計予算

【意見】 人口減少による使用料の減少が予想されるとともに、毎年の維持費も多額である。簡易水道と同様に、財政シミュレーションの提示をお願いしたい。

令和4年3月11日(金)

一般
質問

村政を問う

7 議員12件

田上 芳朗 議員

- 1 未利用の水路、用水、井水の今後について
- 2 遊休農地の有効利用について
- 3 村長の進退について

青木 功 議員

- 1 鳥獣害対策と森林整備
- 2 川等活用振興検討会の取り組みについて

鈴木 正弘 議員

- 1 経済政策による支援を

田中 寛幸 議員

- 1 道路、電柱、電線、通学路等の障害木の扱いについて
- 2 コロナ禍で児童、生徒の状況は

安原千佳世 議員

- 1 内部統制の整備の進捗状況はどうか
- 2 「地域プロジェクトマネージャー制度」の導入の検討について

深澤 衿子 議員

- 1 令和4年度施政方針から問う

大久保繁子 議員

- 1 営農組織の構築について



残任期間半年となったが進退の考えは

答 引き際は今であると考えてる

田上芳朗 議員

未利用の水路、用水、井水の今後について

問 『数十年に一度』と言われ甚大な被害をもたらす大雨が、ここ数年、毎年起きている。水路などの使用していない箇所点検、整備をしてはどうか。

産業振興課長 来年度は、適正に管理するための調査を行う。

遊休農地の有効利用について

問 後継者不足と言われる農家であるが、若い世代が頑張っている。今後も安定して農業ができるように農地の借地料に対し負担軽減を図る対策をとってはどうか。実際、無料にしている団地もあるが、どのように考えるか。

村長 大変ありがたい提案である。今後は無料化に向けて取り組んで参りたい。

村長の進退について

問 大型事業等、多くの課題を抱えているが、任期も残すところ半年となった。今後の進退について、どのように考えているか。

村長 基礎疾患もあり、体力、気力の限界を感じ始めている。任期中に健康上の問題が起これば村民に迷惑がかかり、絶対に避けなければならない。そうしたことから引退の気持ちが強くなった。引き際が大事であり、今がその時であると考えてる。残任期間は半年であるが、コロナ禍でできなかった住民との対話に注力し、公約の実現を目指し精一杯頑張っていきたい。



青木 功 議員

鳥獣害対策と森林整備

答 各関係機関と調整しながら整備を進めていく

問 鳥獣害の現況は。

産業振興課長 猪を主に猿、ニホンジカ等により令和2年度実績で20万円程の被害金額である。

問 泣き寝入りを含めるともっと多額となると思うが、鳥獣被害は近年、人間により広葉樹林の山林から針葉樹林の山林へと、森林開発が進められたことに起因すると考える。農作物の味を知った動物との住み分けは困難かもしれないが、少しでも被害減少に可能性があるのなら、本村民有林の多くを占める伐採時期を迎えたカラ松林、非経済林、皆伐希望所有者林を、餌となる広葉樹林へ変換する森林整備ができないか。

産業振興課長 広葉樹林造成のための樹種転換による整備計画により、木曾川上流域として水源涵養機能を高度に発揮する森林づくりが必要である。今後は木曾谷地域森林計画や森林経営計画との整合を図りながら

森林整備を進めていく。

問 針葉樹であっても若木は地球温暖化防止策となる二酸化炭素の吸収に優れるが、広葉樹林であれば保水力による治山、治水、さらに鳥獣害対策等多面的機能を有すると考える。小規模な民有林の多くが経済的に林業の生業を成さない現在、広葉樹林造成のための苗木購入費や、その後の維持管理費を新たな森林整備として、下流域の自治体へ、森林環境譲与税利活用の働きかけができないか。

産業振興課長 下流域であっても森林面積の大小に関わらず、森林がある以上森林環境譲与税を活用し森林整備を進めていく。しかし、活用方法を模索している自治体もあることから、森林環境譲与税の利活用に関しては、木曾広域森林整備推進室など関係機関と調整しながら進めていく。



鈴木正弘 議員

経済政策による支援を

答 効果的な経済対策を打ち出していきたい

経済的対応と方向性は

問 長野県も新型コロナウイルス感染症対策の特別措置法に基づいた「まん延防止等重点措置」が3月6日まで延長となった。4月からの経済的対応への観点から行政としての方向性はどうか。

副村長 村としても、国のコロナ対策を目的とした地方創生臨時交付金を活用した経済対策の観点から、事業者への支援金給付、村民一人あたり1万円の商品券の配布などに取組んだ。令和4年度のプレミアム商品券の発行も3,000冊から4,000冊とし、5,000円分のプレミアムに引き上げた。国の交付金等を使って、今後も効果的な経済対策を打ち出していきたい。

価格の高騰に伴う支援を

問 新型コロナウイルス感染症で、落ち込んだ経済から脱却する事が今後の最重要課題であると考えられる。他の近隣町村では、灯油等が支援された所もあつ

た。本村でもアフター・コロナとして、村民に灯油等の補助的措置を積極的に考える必要性があると思うがどうか。

副村長 村では、灯油やガソリンの高騰もある中、要援護者に対する生活支援事業として、一世帯1万円の商品券を配布している。今後高騰の状況が続いた場合、全ての世帯への拡充も含めた支援策を検討していきたい。

地方創生臨時交付金(コロナ対応分)の使い道と工夫は

問 令和3年度繰越事業予算措置で、プレミアム率の拡充をどのようにするのか。期間はいつからか。

産業振興課長 拡充としては、昨年実施したプレミアム商品券事業と一緒にあるが、購入冊数を1世帯5万円から10万円に拡大し、使用期限については、7月から12月までの期間で準備を進めている。



田中寛幸 議員

道路、電柱、電線、通学路等の障害木の扱いについて

答 必要な対策は、行っていく

問 樹木の成長により風雪、豪雨による倒木で、電柱、電線も大きな被害を受けた。昨年末やぶはら高原スキー場も倒木によりリフトが緊急停止し営業面で多大な被害を受けた。道路や通学路を含む危険木一斉点検と伐採を早急に実施できないか。

建設水道課長 村としても倒木による危険性の認識は持っており、地域や所有者の経済的負担の軽減の目的で危険木除去補助金制度を設けている。施設管理の面からはパトロールの強化や住民の情報提供を受けながら対応していく。

問 個人では、山林等の状況が分かっていないが。

建設水道課長 道路管理については、強化していきたいと考えており、県の補助事業等を要望していきたい。

コロナ禍で児童、生徒の状況は

答 生活スタイルの大きな変化があった。

問 コロナ禍での児童、生徒の状況は。(生活態度、ストレス、精神的負担は)

教育長 新型コロナ感染を考慮しての生活が2年続きとなりその中で学校行事(修学旅行、臨海学習、運動会)など内容の変更やマスク、検温、健康チェックをはじめ給食時間は分散無言での食事であった。子どもたちにとっては、ストレスを感じたこともあったが、いい意味で慣れてきたことも事実と考える。

問 学校に出てこれない児童生徒はいるか。

教育長 不登校児童生徒は、小学校1名中学校7名。

問 学校と行政との連携は。

教育長 一人ひとりの状況があるので一人ひとりに寄り添った対応になっている。

先生方が本人の相談を含め保護者との懇談、スクールカウンセラーなどを入れてのケース会議などこまめにやっている。教育委員会や住民福祉課の保健師にも入っていただいている。



安原千佳世 議員

内部統制の整備の進捗状況はどうか

答 できるところから業務の可視化、マニュアル化を進めている

問 一昨年4月の機構改正に合わせて、これを契機にして事務手続きを「業務手順書」あるいは「業務マニュアル」を策定し、見える化をすすめるよう提案した。内部統制の整備は町村については義務化されておらず努力義務となっているため、できるところから取組んでほしいと要望した。村からは、前向きに取組む旨の回答があった。その後2年が経過するが進捗状況はどうか。

副村長 令和2年4月の機構改革においては業務の可視化は重要であるとの認識をもっていった。できるところから業務の可視化を進めている。マニュアル化は2つの目的がある。①人事異動により新たな職種に就いた場合や新規採用により業務につく場合において遅滞なく業務が開始できるようにすること。例として会計業務においてシステムのハードコピーを活用しマニュアルを作成し、新卒職員に非常に役立った。②担当者不在の場合に業務を停滞させない。例として、総合窓口における各種申請手続き・イベントの参加申込・ケーブルテレビ加入手続き・上下水道申請手続きにおいてマニュアルを策定し担当者不在でも対応可能となった。また選挙手続きの体系的整備、業務手順におけるチェックリストの作成や年間カレンダーの作成などがあげられる。今後もできるところから進めていく。

「地域プロジェクトマネージャー制度」の導入の検討について

答 今後具体的な案件について庁内にて検討をしていきたい

問 令和3年に総務省が設けた「地域プロジェクトマネージャー制度」の取組について質問する。この制度の概要は地域おこし協力隊のランクアップした制度で活動費が大幅にアップされている。全国でもまた県内でも松本市で採用の事例がみられるようになった。木祖村においても、観光産業等を中心に専門的知識を有する外部人材の有効活用を検討してもよいと考える。藪原スキー場検討会では奥木曾グリーンリゾートに経営コンサルタントを派遣するという村の方針が出ているが、そのような局面において本制度を活用できないか。村の本制度に係る検討状況および今後の取扱いについて伺いたい。

総務課長 本制度は、総務省が地方創生に係る新たな制度として創設したものであるが、村としては令和4年度の予算編成に当たって検討した経緯はない。しかし、将来的には導入を検討していきたい。市町村当たり一人と限定されているが、雇用に係る経費は上限650万円、最長3年間の交付税措置がある。まず地域における課題解決のためのミッションを明らかにする必要がある。当村として具体的には小水力発電、DXの推進、スキー場の課題等専門性を必要とする業務において活用が考えられ今後庁内にて検討していきたい。



深澤 衿子 議員

令和4年度施政方針から問う

答 提案事業については検討する

問 将来木祖村への居住を希望する学生への奨学金貸与制度として「居住者奨学金基金」を制定し継続はしている。現在の利用者は？

総務課長 平成29年度制定、現在16名利用している。令和2年度末1名、令和3年度末2名の定住を確認している。利用者からは好評を得ている。

問 この制度の制定の時、私は地元に残り地元や近隣町村へ就職された方に、就職祝い金や就職準備金のような形で応援することを考えて欲しいと願っていたが4年度には出ていない。「検討する」からどうなってきたか？

総務課長 制度設計時に活発な意見をいただいていた。地元へ就職する若者への応援的祝い金を検討してきたが高校卒業者など新卒者を除き対象者の追跡調査等が難しい状況である。村としては今後幅広く検討していかなければならないと考える。新たに一時的な支援金や給付型資金制度等を検討していく。

意見 子育て支援の最終目的として新生活応援祝い金を検討する様再度願います。

問 木祖村は平和学習に力を入れていて満蒙開拓団や戦争体験の聞き書きでまとめた「木祖村から平和の希求（ねがい）」という貴重な本があり、それを使って

中学生が平和学習をし公民館の呼びかけで村民も中学に行き一緒に学ぶ場もある。また村は修学旅行への補助も続けている。今だからこそ平和・戦争を考える場として子どもでも大人でも学べるドキュメント映画「アオギリにたくして」の上映会を企画することを提案したい。

教育長 平和学習として中学校で戦争体験や満蒙開拓団の学習を村民にも呼びかけ毎年行っておりこの流れは継続していくことが大切であると考えている。令和4年度は公民館の人権学習として村民対象で11月に講演会を企画している。今年はこれをメインにした。郡内でもドキュメント映画「アオギリにたくして」が上映されている。今年度中とは言えないが検討していく。良い提案をいただいた。

問 源気くんドリーム商品券事業について

- ・村や事業者全体の活性化となってきたか？
- ・4,000冊+5,000円のプレミアムで販売されることをうけ利用期間中に「源気市」を企画することを提案。
- ・PRのチラシを各事業の目玉商品等をわかりやすく載せる工夫を提案。
- ・今シーズンの村民シーズン券の商品券の利用状況やコロナ対策の反省。



大久保 繁子 議員

営農組織の構築について

答 課題は多くあるが構築に向かい検討を行う

令和3、4年度と施政方針に営農組織の構築に向け、具体的な検討を進めるとあるが、農業や地域集落が抱える課題は多くある。それらに対しての得策かと大いに期待して、次の質問を行う。

問 営農組織の構想、理想について。

産業振興課長 営農組織の構築に向けては様々難しい課題があり、一概に答えられない点もあるが、構想としては

- ①現存するファーム木祖を法人化に移行。
- ②道の駅管理会社による、農業法人の立ち上げができたらいと考えている。

本来農業従事者自体が、組織化、法人化に向かうことが理想である。

それに対して村はバックアップし、支援をする。

問 現状について（進捗状況）

産業振興課長 現在は進展していない。

問 課題について。

産業振興課長 課題は多くある。本村が中山間地域であることなどから、次のことが理由として挙げられる。

- ①農耕地が点在していること
- ②耕作面積が狭いことから作業効率が悪いこと
- ③農業に携わる期間が短いこと（農業収益の課題）

問 目標とする完了年度について。

産業振興課長 目標年度を令和6年度とし、組織化に向け検討していく。

意見 私は兼業農家として、又愛菜の会の一会員として、農業従事者に接してきた。農業の現状を見ると、組織化、法人化の必要性を感じてきた。確かに組織化、法人化に向けては課題があり、困難であることから構築に向けて尽力していただきたい。

木祖村議会全員協議会

協議事項

* 行政懇談会について 総務課

- ・ 令和4年度の行政懇談会の開催日「4月16日(土)/17日(日)/24日(日)」に決定。



* ワクチン接種の状況について 住民福祉課

- ・ 3回目接種は3月17日まで1,784人済み、3月27日予定272人が接種し接種率91.8%（全体で8回の接種）
- ・ 5歳～11歳ワクチン接種について、アンケート調査に於ける希望をしない方以外は接種券を発送し、4月2日より、奥原医院にて個別接種とする。《本村への小児用ワクチンは確保済み》
- ・ 12歳～18歳の3回目接種について、18歳未満の3回目接種は薬事承認されていない中で、国から早期接種体制の確保の要請があり、現在奥原医院と調整中。認可され次第接種できるよう準備中。
- ・ 木祖村新型コロナウイルス感染症陽性者等の買い物代行支援事業について。

この事業は、新型コロナウイルス感染症陽性者および濃厚接触者が自宅療養、自宅待機することになった場合、日常生活を継続するための買い物等を代行するもの。

《どんな方が利用できるのか：どんなことを支援してもらえるのか：いつ利用できるのか：利用できる回数は：買い物代はいくらまでの金額範囲なのか等》買い物等の代行支援に関する利用の流れは、木祖村社会福祉協議会から村民にご案内することとしている。

* 森林整備協定（名古屋市との森林整備協定の概要）(案) 産業振興課

● 協定の目的について

木曾川の上下流が連携し、上流域の森林資源・下流域の人的資源等を活用した森づくりや製品開発を通じた普及啓発活動等により、森林資源の消費地である下流域の住民に対して環境問題に対する意識の向上を図る。また協定をきっかけに木曾川という水の緑や資源から広がる人と人、モノとモノ、いわゆる人的・物的交流を促進する。

● 協定による効果と検証

「環境問題・住民の意識・共通理解、人的、物的交流の経済波及」

◎ 主な協定内容と事業内容

「木祖村小木曾こだまの森の一角、約3haの森林整備・間伐材の利活用・森林整備の推進・環境に関する普及啓発活動」

◎ 協定期間

5年間（令和4年～令和9年3月まで）申し出が無い場合は都度5年間延長

◎ 費用負担

「森林整備費は名古屋市の森林環境譲与税を活用・森林整備費により発生した木材利用の負担方法・森林整備により発生した木材収入の分取率」

◎ 協定締結までのスケジュール

「令和4年3月協定書（案）の作成・4月協定書（案）の最終確認・4月末～5月に協定締結」

※やぶはら高原スキー場の状況について、奥木曾GR川口社長から報告。今シーズンは豊富な雪に恵まれ対前年比116%であり、集客人数も約70,000人弱の入込となった。主に中京方面のお客が多いが、近年静岡・関東方面からの客足が増えてきている。

※農産物直売所及び加工所の状況について、高橋代表より報告。「げんき屋の売上95.18%、加工所117.67%、げんき茶屋69.09%、総売り上げ95.31%」対前年比の状況である。今後加工所の取組にはもろこし5万本程度の取扱いをして、加工品の開発などに力を入れていきたい。またおやきなどは一番人気であった。



* 宮沢川溢水防止応急対策について 建設水道課

- ・ 令和2年7月豪雨、令和3年8月豪雨と2年連続で溢水が発生（準）宮沢川にかかる村道神出線の神出橋について、溢水防止応急対策工事の実施。

・ 請負人 木曾土建工業株式会社

・ 請負金額 902,000円

・ 契約期間 令和4年3月7日から令和4年5月23日（工事期間中に増水が予想される場合は、村道神出線は通行止めとなる）

—— ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議し、平和的解決を求める決議 ——

提案議員 木祖村議会議員 安原 千佳世

本年2月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法違反であり、また国際連合憲章違反でもある。国際社会の平和と秩序を脅かし、生命および安全に対する権利を深刻に侵害するもので断じて容認できない。人道にも反する明らかな侵略である。

今回の侵略によって、ウクライナの主要都市が攻撃され、一般市民を含め多数の死傷者が生じ、避難を余儀なくされている市民も多数に及んでいる事実は、国際社会に平和への連帯の働きを巻き起こしている。

プーチン大統領の核兵器使用を示唆する発言や原子力施設への攻撃は、唯一の戦争被爆国として、断じて容認することはできない。

今緊急に求められているのは、ウクライナの人々の生命と主権を守ることである。

よって、ロシアに対し、ウクライナへの攻撃を即時に停止完全撤退することを強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月11日(金) 長野県木曾郡木祖村議会

活動報告

令和4年度

「住民と木祖村議会議員の懇談会」の報告

9区-1、9区-2自治会との懇談会

令和4年1月7日(金)「ときわ集会所」19:00から開催されました

会合の席には、自治長を含め12名が参加。議会側からは古畑・深澤・田中・鈴木の4名が参加。計16名の席で開催されました。

令和4年度9区自治会組織改革で、軒数の減少や役員の成り手不足、地域間の連携等の維持的継続の為、令和4年4月から、2つの区域を統合した新たな規約に改正し、臨時総会后に組織を解散した後、新体制で総会を開き4月から本格的な体制で活動を始めるとの事でした。



7区自治会との懇談会

令和4年1月11日(火)「7区集会所」18:30から開催されました

役員会の席には、自治会長を含め9名が参加。議会側からは深澤・田中・鈴木の3名が参加。計12名の出席で開催されました。

自治会から「猫繁殖の問題で、野良猫が増えてきている。その件で、猫の駆除や避妊などを村として何とかしていただきたい。また除雪問題で、高齢化のため脇道等の雪の撤去が非常に負担となっている。村としても対策をしてほしい。」などの意見がありました。



令和4年 木曽広域連合議会第1回定例会の報告

令和4年2月25日(金)令和3年木曽広域連合議会第1回定例会が開催され以下の議案が可決されました。

議案番号	件名	結果
議案第1号	木曽広域連合事務局設置条例の一部改正について	可決
議案第2号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
議案第3号	議会の議員の議員報酬並びに特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決
議案第4号	木曽地域高度情報化施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について	可決
議案第5号	木曽広域連合公の施設（木曽文化公園宿泊施設）に係る指定管理者の指定について	可決
議案第6号	令和3年度木曽広域連合一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第7号	令和3年度木曽広域連合介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第8号	令和3年度木曽広域連合下水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第9号	令和4年度木曽広域連合一般会計予算	可決
議案第10号	令和4年度木曽広域連合介護保険特別会計予算	可決
議案第11号	令和4年度木曽広域連合下水道事業会計予算	可決

令和4年 松塩筑木曽老人福祉施設組合議会 2月定例会の報告

令和4年2月16日(水)塩尻総合文化センター講堂で開催され以下の議案が可決されました。

提出議案

■ 議案第1号 債権の放棄について

* 概要：特別養護老人ホームサニーヒルキソ利用者が死亡退所した後、成年後見人により、相続財産から施設介護サービス利用料等債権の一部の弁済が終了しましたが、今後、徴収が見込めないことが明らかであるため、債権を放棄するものです。

■ 議案第2号 令和4年度松塩筑木曽老人福祉施設組合一般会計予算

* 予算総額 4,280,000千円 前年対比0.7%の増

■ 議案第3号 令和3年度松塩筑木曽老人福祉施設組合一般会計補正予算（第2号）

* 補正前の額 4,470,000千円
補正額 30,000千円
補正後の額 4,500,000千円

元気発見! むらびと大図鑑

特集 チャレンジャーの二人に聞く!

森下 つば実さん (スキー)

私は、ジュニアオリンピックに出場してきました。
今シーズンは、シーズンに入る前から毎日「あざ」が絶えないほど練習に励みました。その結果、初めて表彰台に上がることができて本当に嬉しかったです。全国という舞台で滑れたことや強い人の滑りを見られたことはすごく楽しかったです。とてもいい経験になりました。

また、全国大会に出場したことで、たくさんの方から応援をいただきました。改めてこんなに多くの人たちに支えられているんだと感じました。大会に出ると、スキーを続けられるのは、コーチや親、村の方たち、大会関係者などの人たちの協力のおかげだとつくづく感じます。いつも戦っているライバルは、ベストを尽くして本気で競い合える大切な友達です。これからもともに成長していきたいです。来年からは、部活の陸上や筋肉トレを仲間と一緒に続けて、もっと上を目指していきます。いつも感謝の気持ちを忘れずに練習に励んでいきたいです。応援ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。



寺平 祈愛さん (陸上)

私は去年、全国大会に2度出場しました。ずっと全国の大舞台で走ることを目標にしていたので予選では楽しんで力を出せました。しかし強い向かい風の影響もあり私は1000分の4秒差で目標としていた決勝進出を逃しました。U16大会に向けて切り替えていた頃に私はけがをしてしまいました。本番ギリギリで間に合わせ出場したU16大会では、100mを走りきる

ことはできたものの思うような走りはできずまた悔しい思いをしました。冬季練習では左右バランスを整えることなど自分の足りないところを強化していきました。その成果を試そうと出場した3月の大阪室内陸上60mでは見事優勝することができました。とても嬉しいことでしたが私が目指しているのは100mで頂点に立つことです。今年は中学最後の年、悔いのないように去年学んだことを活かして輝けるように頑張ります。

編集後記

世界は手を携えて美しい未来に向かって行く必要があるとして、[共に未来へ] をスローガンとした北京冬季五輪、パラリンピックが開催されました。又この2年間コロナ禍で自粛が求められ、新しい生活を余儀なくされて来ました。いつ終息するのか予想もできない状況にあります。ウクライナ情勢は私達を驚かせています。今なお厳しい環境の中にあります。今年度の節目を迎え、本村は令和4年度の当初予算を作成し、村長の施政方針のもと出発しました。村民一丸となって実り多き年度となりますように祈願します。